

第5回「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会 委員発言要旨

H25.10.10

【安心】

(子育て関連)

- ・子育てが一段落した人にも、情報発信をして子育て世代を支える仕組みをつくったらどうか。
- ・3人目を産むことにインセンティブを与えるなど、人口が増える政策を検討したらどうか
- ・待機児童ゼロについてだが、保育環境を悪くしてただ受け入れる等子どもの視点を欠き、親の視点での整備を進めないようにすべきではないか。

(高齢者の元気づくり関連)

- ・老人会・婦人会の平均年齢が高く、若い人が入っていない。地域活動が活発になるように、老人会などに若い人が入るようなしくみを検討してはどうか。

(女性の活躍)

- ・女性の管理職の割合について、国の目標は、2020年に30%としている。今後、スピードアップさせて推進したらよいのではないか。女性リーダーを育成して、経済界等いろんな分野でどのように女性の活躍を進めるかが大切と思われる。

(医療の充実と健康づくりの推進)

- ・高齢者の増加により、在宅医療推進の必要性が高まってくるが、在宅医が少ない。また、老健施設などが囲い込みをすることもあるので、そのようなことが無いように、推進していただきたい。

(安全・安心な暮らしの確立)

- ・ストーカー事件が発生しているが、学校に通っている生徒は学校が守る必要がある。学校の生徒指導室と警察の生活安全が連携した対応をすべきではないか。一般の人、警察以外で相談等対応できる場所を作ることが必要ではないか。

(危機管理の強化)

- ・災害時に、炊き出し等が出来るように、公共の施設等で、調理の出来る施設を増やしたらどうか。

(恵まれた環境の未来への継承)

- ・世界農業遺産やジオパークは、大切な財産であるので、きちんと活かすべきではないか。

【活 力】

(活力を創造する商工業等の振興)

- ・ものづくりに触れるためにも、3Dプリンターを高校など学校に配置したらどうか。
- ・企業誘致は、ベンチャー企業など今後可能性のある企業を誘致したらどうか。また、地場との連携が進む取組も必要ではないか。
- ・県経済を支えるためには、景気・雇用対策が重要であり、労働者対策が重要ではないか。雇用について、政策が見えない。スキルアップや離職者を増やさない新卒者の支援など、雇用対策に重点をおくべきではないか。

(ツーリズムの展開)

- ・おんせん県おおいたは、医療、遊び、潤い、癒しなどを与えるなど特徴付けが大事ではないか。

(海外戦略の推進)

- ・子どものグローバル人材の育成も大切だが、大人のグローバル人材の育成も重要である。

【発 展】

(教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成)

- ・ネットの使い方について、子どもに指導が行き届いていないので、ITの子ども向け講話など回数を増やす対策が必要ではないか。
- ・幼児教育は、学力・体力向上の面でも非常に大事であるので、幼児教育に力を入れるべきではないか。
- ・サッカーや野球など、部活動に入っている生徒も少なくなってきたが、放課後学校のグラウンドを地域に開放したらどうか。

(芸術・文化の興隆とスポーツの振興)

- ・大分に県立の美術館が出来るということが、県外の人に知られていないので、積極的なPRが必要ではないか。
- ・オアシスは、ホール、練習室、宿泊施設が全て揃っており、全国的にみても素晴らしい施設である。宿泊を絡めたプラン等で積極的に活用すると共に、福岡から来る、日帰り者に対してのバスやJRの交通対策をしたらどうか。
- ・国東には、たくさんのアーティストが集まってきており、芸術祭などもありがたい。世界農業遺産やジオパークも認定を受けてさらに、作家達が期待しているので今後も更なる取組が必要である。